

いしのまき 普及センター通信



特集 本格デビュー！「にこにこベリー」

宮城県の新品種いちご「にこにこベリー」
今シーズンからの本格デビューを記念し
3月5日から県内飲食店フェアを開催します

石巻駅前のCafe 蓮では5月まで「にこにこベリー」を使ったパフェが楽しめます

3万粒の中から選ばれた奇跡の一粒

いちごの新品種「にこにこベリー」は、宮城県オリジナル品種「もういっこ」と人気品種「とちおとめ」の組み合わせから生まれました。交雑と播種を何度も繰り返し、数多くの種の中から選ばれた奇跡の一粒です。

美しい円錐形と、しっかりとした果肉は中まで赤く、切ったときの鮮やかな断面が特徴です。甘味と酸味のバランスが良く、生食用にはもちろんのこと、加工してもおいしく召し上がれます。

「もういっこ」に続く”2こ目”の品種であることや、農家の皆さんも食べた人も、みんなが”にこにこ”笑顔になるように、という願いからこの名が付けられました。





【生産者】

(株) トライベリーファーム
高瀬 卓弥さん

「にこにこベリー」の栽培は今作が初めてで、まだまだ手探り状態です。ほかの品種と比べて、わき芽や花数が多く、果房が長くなり折れやすいなどの特性はありますが、子苗の増殖性が良く、冬場の低温にも強いいため育てやすいと思います。玉揃いも良くパック詰めなど作業効率も良いです。

甘味と酸味のバランスが良く、スイーツなどの加工品に対しても需要が期待できます。また、果肉がしっかりしているため長持ちすることも魅力の一つです。日持ちの良さにケーキ屋さんも驚いていました。

来作は「にこにこベリー」の作付けを増やす予定です。今後も試験場、普及センター等の定期巡回や栽培指導会を通して「にこにこベリー」にあった栽培法を模索しながら、生産を拡大していきたいと思えます。



そのまま食べるのはもちろん スイーツでもおいしい



【飲食事業者】

Cafe蓮オーナー
齋藤 ゆかりさん

「にこにこベリー」は甘いだけでなく酸味もあるため生クリームとの相性が良いですね。歯ごたえもしっかりしているので、食感を楽しめるパフェにして提供しています。ほかの品種に比べて果肉が鮮やかなのでスイーツにしたときに映えます。香りも非常に濃厚で、1つのテーブルでパフェの注文があると別のテーブルでも注文されるなど、評判のメニューです。

これからも「にこにこベリー」を使ったメニューを提供していきたいと思えます。



Cafe 蓮 ☎ 070(1141)5288

スイーツだけではなく、地元で採れた新鮮な野菜やお肉、お魚を使ったランチが楽しめるカフェ。石巻産玄米粉を使ったパンも人気です。

数量限定！にこにこベリースイーツ登場

県内32店舗の飲食店で「にこにこベリー飲食店フェア」を開催します。県内の参加店舗で「にこにこベリー」を使ったスイーツが数量限定で販売されます。

この機会に旬の「にこにこベリー」をご賞味ください。

● 開催期間

3月5日(木)から3月22日(日)まで

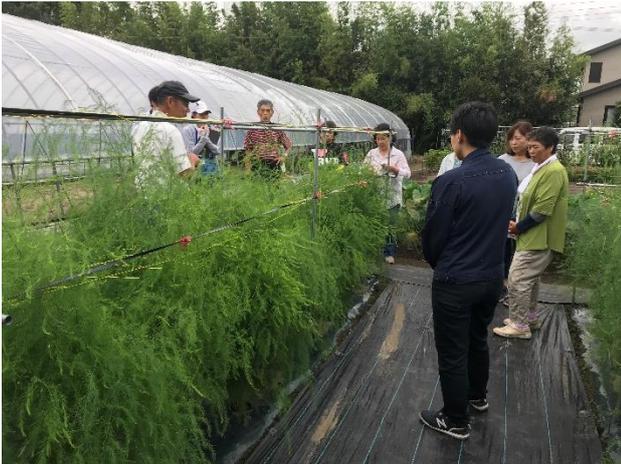
● 管内参加5店舗

- 1 パティスリーアンジェリーナ
(石巻市あけぼの2-1-2)
- 2 えくれーる蛇田店
(石巻市わかば1丁目1-7)
- 3 Cafe蓮 (石巻市立町2-7-26)
- 4 お菓子の国パンジー
(東松島市赤井字川前-3-3)
- 5 パティスリージュリアン
(東松島市矢本字北浦39-50)



※各スイーツは写真下に記載している番号の店舗で購入できます。詳細は上記のQRコードよりHPをご覧ください。

アスパラガス生産振興へ



採りっきり栽培の8月の生育は順調です



国内産の需要が高く、野菜の中でも市場価格が高値で取り引きされている国産アスパラガス。もうかる農業の実現に向けて、アスパラガスの導入・定着を目的にした、栽培セミナーを11月7日に開催しました。

栽培セミナーでは、明治大学の元木悟准教授から「アスパラガス採りっきり栽培（明治大学とパイオニアエコサイエンス株式会社の共同開発の栽培方法）」について説明がありました。

アスパラガスは収穫まで通常3年かかりますが、採りっきり栽培では定植翌年に収穫できます。また、これまでの栽培方法に比べて病気の発生が少なく、低コスト・省力化が期待できます。

セミナーには、直売所出荷者やほ場整備地区の農業者約50名が参加し活発な質疑が行われました。セミナー終了後には、農業者から栽培を行いたいとの話もありました。

普及センターではアスパラガスの生産定着に向けて研究会を立ち上げ、関係機関と連携しながら生産振興、普及・支援していきます。

【問】地域農業班 ☎0225(95)7612

「だて正夢」「金のいぶき」収量向上に向けて

県では、平成30年に本格デビューした「だて正夢」と健康ニーズに対応した玄米食向け品種「金のいぶき」の生産拡大を進めています。

1月31日に開催されたJAいしのまき稲作部会主催の稲作総合検討会で、令和元年の作柄を振り返り、新品種の栽培ポイントを整理したのでご紹介します。

「だて正夢」は茎数が増えにくく穂数が少ないという特性があります。また、「金のいぶき」は初期生育がやや緩慢で、ほかの品種に比べて登熟歩合が低い特性があります。

普及センターで設置している展示ほ場の令和元年の収量（坪刈り収量）は、「だて正夢」636kg/10a、「金のいぶき」582kg/10aと目標を上回りました。これは、栽培マニュアルに基づく適切な植付株数を確保したことや、適切な追肥を行い、葉色を維持するなど、展示ほの生産者が品種の特性を十分に理解し、基本的な管理を確実に行ったことが高収量につながった要因だと考えられます。

今後も普及センターでは、生産の安定化にむけて、栽培技術支援を行っていきます。

【問】先進技術第一班 ☎0225(95)7612



10俵/10aを超える収量となった「だて正夢」

● 植付け株数の目安

項目	坪あたり株数
だて正夢	60株/坪
金のいぶき	60株/坪

● 追肥の目安

項目	幼穂形成期	減数分裂期
だて正夢	—	2kg/10a
金のいぶき	1kg/10a	1kg/10a

マナーはみんなが気持ちよく働くためにある



参加者からは「言葉の選び方や所作などが勉強になった」との感想が寄せられました

農業法人で働く若い社員を対象に、マナーやコミュニケーションを学ぶ研修会を2月7日に開催しました。様々な人が集まって仕事をする「会社」では、外部の方はもちろん、同僚に対しても相手を気遣うコミュニケーションが求められます。

受講者は別の法人の方とペアになって、あいさつや名刺交換、相手の褒め方などを実践形式で学びました。最初は見知らぬ人相手できちなかった会話ややりとりも徐々にスムーズになり、普段じっくり研修することのないコミュニケーションについて学ぶ貴重な機会となりました。

今後も、気持ちよく働ける農業法人の環境づくりを支援していきます。

【問】地域農業班 ☎0225(95)7612

鳥獣害対策を地域で考えてみませんか



住民役とハンター役が協力して動物を捕獲するボードゲームを実践しました

石巻管内ではニホンジカの生息数が増加傾向にあり、農業・林業被害が相次いでいます。正しい知識を持ち、地域や集落単位で対策に取り組むことで、効果的に被害を防ぐことができます。

1月28日には研修会を開催し、専門家から正しい知識を学ぶとともに、地域で鳥獣害対策に取り組むきっかけとしてもらうため、集落地図を使ったボードゲームを行いました。

また、初めて被害対策に取り組む方にも分かりやすいシカ対策マニュアルを作成しました。ボードゲームをやりたい方やマニュアルについてくわしく知りたい方は、下記までお問い合わせください。

【問】農業振興班 ☎0225(95)7809

～ 編集後記 ～

分かりやすい紙面を目指し、大幅にレイアウトをリニューアルした今回の「いしのまき普及センター通信」いかがだったでしょうか。今号は、今年度本格デビューした「にこにこベリー」の魅力を皆さんに知っていただけるよう、2ページにわたり特集でご紹介しました。

これからも皆さんにとって有益な情報を分かりやすく発信していきたいと思えます。一人でも多くの方に読んでもらい、少しでも役立ててもらえれば嬉しいです。

(情報発信チーム一同)

【発行】 石巻農業改良普及センター
(宮城県東部地方振興事務所農業振興部)

〒986-0850
宮城県石巻市あゆみ野5丁目7番地
電話 0225(95)7612
FAX 0225(95)2999

この冊子は550部作成し、1部あたりの単価は約60円です。



本誌は、環境にやさしい大豆インキと再生紙を使用しています。